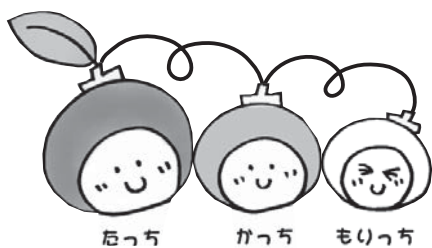


社協たかもり

※社協よりは町民の皆さんからの会費により発行されています。



あけましておめでとございませう。
本年もよろしくお願ひします。



赤い羽根共同募金

今年も10月1日より、「赤い羽根共同募金」運動が始まりました。地域の皆さんのご理解とご協力で支えられ、今年で70回目の節目を迎えます。今回は、「赤い羽根共同募金」についての説明と共同募金会高森町支会の取り組みについてご紹介します。



共同募金の仕組み

地域で集めた募金は、集めた地域で使われています。

集まった募金の70%は、募金を頂いた地域で、残りの30%は市町村を超えた広域的な課題解決のために都道府県の範囲内で使われています。

助成額を決めてから募金を集める仕組みです。

共同募金は、地域ごとの使い道や集める額を事前に決めて募金を募る「計画募金」という仕組みで運営されています。計画に基づいて、1世帯あたりの目安額等を定めています。(あくまで目安であり、金額はお気持ちで構いません)。

共同募金の使われ方

募金は、民間の地域福祉を支える活動に使われています。

共同募金の助成は、地域での支え合いの活動やボランティアの育成、子どもたちへの福祉教育等、さまざまな民間の社会福祉活動に使われています。

災害にも共同募金は使われています。

大規模災害への備えとして、各都道府県の共同募金会では、募金額の一部を災害等準備金として積み立てています。有事の際に、災害ボランティア活動支援等、被災地を応援するために使われています。

高森町支会での取り組み

戸別募金

常会や隣組長の方々にご協力いただき、皆さんからの募金をお預かりしています。

法人事業所募金

11月下旬頃、町議会議員や各区长、民生児童委員の方々のご協力のもと、町内の各企業や商店を訪問させていただき、募金をお預かりしています。

街頭募金・イベント・その他

年末のアピタ高森店での街頭募金や、11月のまるごと収穫祭社協ブースでの射的やガチャガチャ等の収入も全て募金に当てさせていただいています。



お預かりした募金は全額を長野県共同募金会に送り、配分委員会を経て、計画に基づいた金額が次年度に助成されます。高森町では、毎年各地区で開催されるふれあい広場への助成や、地域の災害対策資材の整備として発電機やテントの購入等に使用させていただいています。



「赤い羽根共同募金」は皆様のお気持ちに支えられた、「じぶんの町を良くするしくみ」です。

「ふだんのくらしのしあわせ支え隊」開催のお知らせ

高森町社会福祉協議会では、今年度も2回にわたり、かいごの教室を開催いたします。今年度より、「ふだんのくらしのしあわせ支え隊」と題して、日常生活の中でのより身近な困りごとについて、その解決のヒントにさせていただいたり、悩んでいることを皆さんで共有して心を軽くしていただく場にしたいと考えています。



第1回 2/5 (日)

介護食について ～手軽にできるむせない食事の作り方～

「一人分だけ別の食事を作らないといけないの?」「トロミってどうやって付けるの?」といった食事の困りごとについて、下伊那厚生病院管理栄養士の梅村尚美さんを講師にお迎えして、その作り方や考え方を指導していただきます。

第2回 2/19 (日)

認知症について ～ご本人の気持ち、ご家族の気持ち～

「何度も同じことを聞かれてうんざり…。」「何かにつけ『盗られた!』と言われて困っている。」等、認知症の方の介護で日々悩んでおられる方もいらっしゃると思います。全ての方に当てはまるとは限りませんが、その接し方のコツを寸劇を交えてわかりやすくご紹介します。



時間：午後1時30分～3時30分頃
場所：やすらぎ荘

事前のお申込みは不要ですので、実際に介護をしている方、介護について関心のある方等、どなたでもお気軽にご参加ください。

お問い合わせ先 高森町社会福祉協議会 居宅介護支援事業所 電話 35-9588

第5回 初めてのボランティア講座

「いざという時どこでも簡単 レンガでロケットコンロ作り」 & 「地震の備えに役立つ家具留めの方法」

12月8日(木)、高森町ボランティアセンターにて、第5回「初めてのボランティア講座」として、災害時対応や防災に役立つ二つの講座が開催されました。

初めに、「たかもり環境塾」の関島純子さんより、レンガで簡単に出来るロケットコンロの作り方を教えていただきました。空洞コンクリートブロックを敷いた上にレンガ(耐火でなくても可)22個を組み合わせていき、あっという間に完成。火を入れると上部より炎が立ち上り想像以上の火力ですが、外側は素手で触れられるほどにしか熱くならず、簡単な作りながら実用性、安全性に富んでおり、ロケットコンロで沸かしたお湯で淹れたコーヒーは格別の味でした。



続いて、「飯田ボランティア協会」の今村保一さんに防災、減災の有効な手段である家具留めの方法を教えて頂きました。内閣府の資料によると、首都直下型地震が起きた際の想定負傷者16万人のうち、34.2%(約54,500人)の人々が家具類の転倒・落下により負傷するとされています。裏を返せば、転倒防止の対策さえしておけば多くの人々が負傷しないで済むということになります。

今村さんから、それぞれの家具の形状にあった器具を用いて、簡単に効果的な固定の方法を教えてくださいました。参加者からは口々に質問が飛び、防災に対する関心の高さが伺えました。



高森町ボランティアセンターでは、定期的にボランティア講座を開催しています。内容は様々ですが、いずれも皆様の生活に、そして地域に役立てて頂けるものばかりです。

興味のある方は気軽に高森町ボランティアセンター(電話34-3001)までお問い合わせください。フェイスブックでも情報発信していますので、そちらもぜひ!

高森町社会福祉協議会

電話34-3717 FAX35-9589 Eメール t-shapc1@takamori.ne.jp
ホームページ http://www.takamori-shakyo.com/

お得な情報満載!

高森社協 検索

